

太田静子 おだか 歌人。大正二年八月十八日滋賀縣愛知郡愛知川村生れ。

昭和五十七年十一月二十四日歿（一九三二—八二）。愛知川高等女學校卒。

ト京して實踐女子専門學校家政科入學も一年で退く。口語歌を作り、

『短歌文學』、『短歌藝術』同人を経く、逆子八郎主宰の『短歌と方

法』同人。この間、歌集『衣裳の冬』（昭和九年刊）を出版した他、

新短歌クラブ會員となり、年刊歌集『新短歌一—九二七年』（新短歌

クラブ編、昭和十一年十一月十日第一書房）に『永遠の今』十九首を

發表した。その後小説に志し、愛讀してゐた太宰治と接觸。その歿後

に一女と出産、ゆかりの小説家太田治と交際した。

著書は他に『斜陽日記』（昭和二十二年十月十日石府書房）、『小説太

宰治』（昭和二十三年十一月一日ハマ書房）、『あはれわが歌』（昭

和二十五年十一月十日ジープ社）等。

